

II 成長について

方法

当水試及び地元養殖業者の養成スツポンを、定期的に50～70頭取り上げ、上皿秤とノギスを用いて、体重と甲長を測定した。

結 課 及 び 考 察

測定結果を表2、成長グラフを図1に示した。

表2、スツポンの体重(♀) 甲長(cm)測定結果(1972～1973年)

調査区	種苗放養時		2月	4月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
A	1972年 6月ふ化	体重			3.1	7.6	14.2		28.6		28.1	26.0
		甲長			2.8	3.3	4.5		5.6		5.7	5.6
B	1972年 4月	体重		13.3		39.2	110.7	154.4		177.4	191.2	195.9
		甲長		4.3		6.4	8.8	10.1		10.3	10.7	11.2
C	1970年 12月	体重	252.5	283.1		381.8				602.3		
		甲長	12.4	12.9		13.8				16.3		
D	1971年 8月	体重	43.2	54.3		185.6				266.4		273.4
		甲長	6.4	7.3		10.4				12.3		13.2
E	1971年 12月	体重	3.9	7.8		47.0				178.1		193.7
		甲長	2.8	3.6		6.1				10.8		11.4
F	1972年 8月	体重					7.2		17.6			27.9
		甲長					3.4		4.7			5.7
月平均水温 (℃)			20.6	22.4	28.0	29.8	27.2	26.6	23.9	22.5	19.3	18.3
月平均気温 (℃)			18.6	22.0	27.8	28.3	27.3	26.7	25.0	22.9	19.8	18.7

スツポンの成長は、図1に示されるように、体重は、約50♀(甲長約7cm)までは緩慢であるが、50♀以上では急速に増加する。甲長は、約10cm(体重約160♀)までは速いが以後ゆるやかになる。また、水温が月平均22℃以上の4月～10月は良く成長する。11月～3月にかけて水温は22℃を下り、摂餌量、摂餌及び活動日数は減り、成長量も少ない。

梶(1969)によると、静岡県焼水津におけるスツポンの自然温度下養殖では、4月下旬から投餌を開始し、10月中旬より冬眠する。従つて、年間の冬眠期間は6ヵ月以上に達し、摂餌期間は5ヵ月余にすぎない。冬眠中はほとんど成長せず、もしくは若干の体重減がある。同地方では、満3年で700♀に成長する。

本県では、摂餌期間は7ヵ月に達し、冬期でもスツポンの完全な冬眠は見られず、好天で暖かくなると摂餌、活動を行ないわずかながら成長する。図1に示されるように、本県ではスツポン

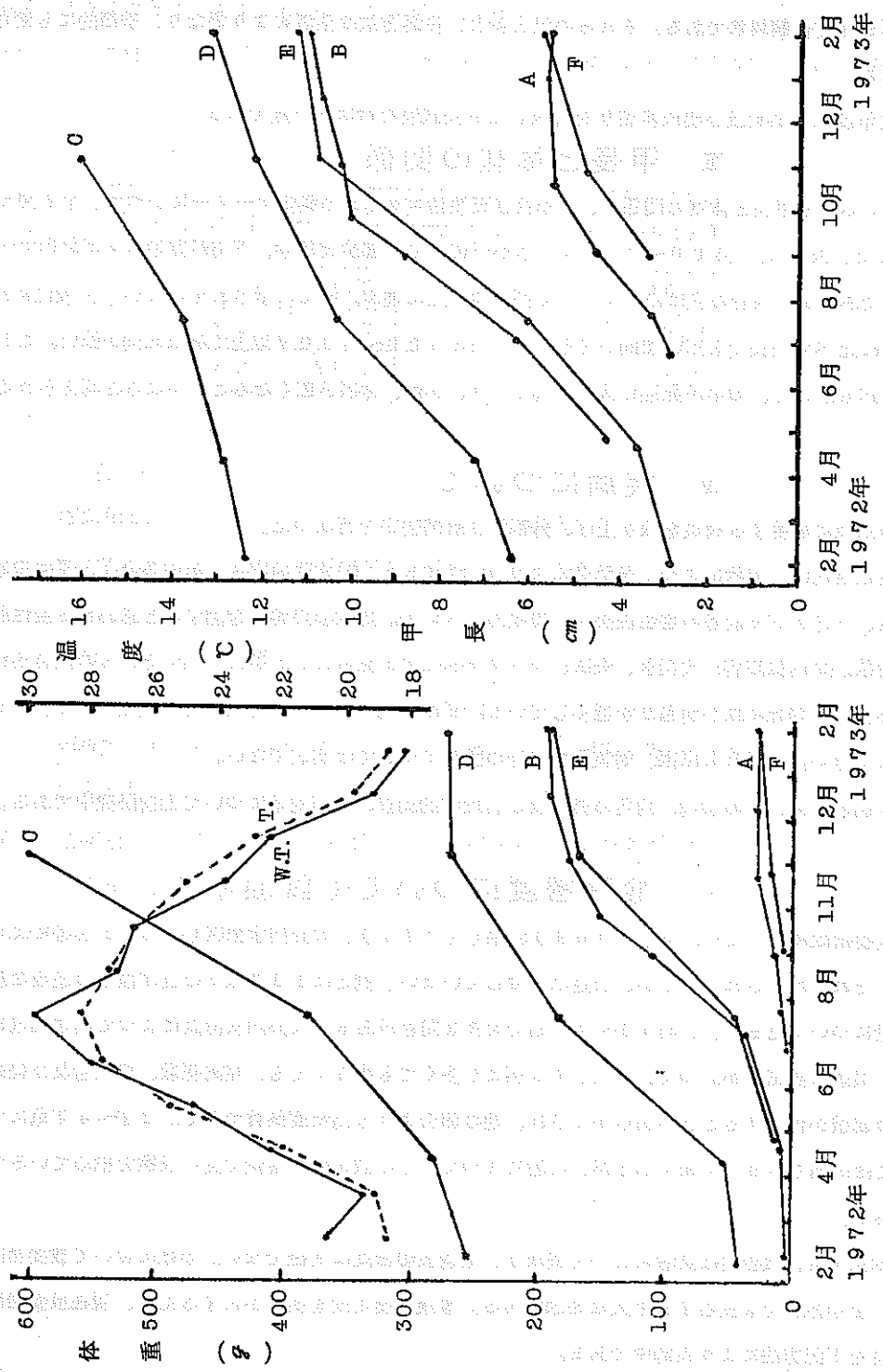


図 1、スツポンの成長